

令和6年度あやせEMS監査報告書

- 1 実施日時 令和6年5月27日（月）から6月14日（金）まで
- 2 監査対象 書類監査：要綱第7条に規定する実行組織で環境行動計画及び第4次地球温暖化対策実行計画に個別で設定されている事業や法的要求事項がある実行単位（課）

現場監査：抽出した10実行単位

- 3 監査内容 あやせEMSプログラムの運用状況の確認

- 4 監査結果 指導 0件 観察 8件 不適合 0件

（別紙「部会別報告書一覧」参照）

- (1) 指導：「綾瀬市環境マネジメントシステム運用要綱」に基づき運用されているが資料に不備がある、5Sの一部不徹底
- (2) 観察：「綾瀬市環境マネジメントシステム運用要綱」に基づき運用されているがEMSプログラムへの記載漏れがある、前年度一部未達成、5Sの多くが徹底されていない
- (3) 不適合：「綾瀬市環境マネジメントシステム運用要綱」に基づいて運用されていない、5Sの不徹底、法令違反、前年度全部未達成

5 講 評

- (1) 本年度監査では観察が8件となりました。あやせEMSは概ね適切に運用されております。
- (2) 一部の観察理由となった新型コロナウイルスによる事業の中止については、令和4年度よりも概ね解消されました。
- (3) 不適合について、本年度監査では0件となりました。
- (4) 二酸化炭素排出量について、令和4年度と比較して減少しています。
また、排出量の減少については、コロナ禍で増加していた消防署の救急件数が減ったことに伴い、ガソリンの使用量が減少したことなどが考えられます。
- (5) 二酸化炭素の排出量を減少させていくためには、引き続き高効率設備への更新や再エネ設備の導入を推進していく必要があります。

令和4年度総排出量	6,700,572 kg-CO ₂
令和5年度総排出量	7,000,712 kg-CO ₂
令和12年度総排出量目標	3,822,000 kg-CO ₂